

のだネット通信



中核地域生活支援センター のだネット（千葉県委託事業・野田健康福祉圏域）
http://homepage2.nifty.com/noda-net/
TEL 04-7127-5366 / FAX 04-7127-5367
〒270-0235 野田市尾崎840-32 / E-mail noda-net.kusunoki@nifty.com

のだネット 相談件数（令和6年4月～令和7年3月）報告

対象別													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
高齢者	35	43	41	67	46	29	53	50	34	60	74	61	593
障がい児者	794	790	595	754	634	640	667	641	641	612	606	612	7986
児童	8	7	12	7	2	15	14	5	12	9	7	35	133
その他	73	77	50	105	188	181	181	169	147	133	163	134	1601
合計	910	917	698	933	870	865	915	865	834	814	850	842	10313
新規・継続													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	14	12	17	18	10	14	14	10	18	14	9	18	168
継続	113	108	101	127	110	110	98	144	157	136	159	111	1,474
合計	127	120	118	145	120	124	112	154	175	150	168	129	1,642
方法													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	697	730	534	714	653	680	715	640	596	597	611	645	7,812
来所	17	9	7	17	11	13	20	9	18	10	13	13	157
訪問	175	151	155	181	182	158	164	196	208	189	194	174	2,127
その他	6	11	2	6	7	4	12	13	7	7	10	7	92
合計	895	901	698	918	853	855	911	858	829	803	828	839	10,188
時間帯													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0時～6時	4	5	7	3	6	4	4	5	9	3	3	4	57
6時～9時	59	63	58	62	55	69	71	52	51	59	58	75	732
9時～17時	691	696	517	685	652	611	695	692	634	572	605	614	7664
17時～21時	126	125	106	154	116	151	124	96	130	156	146	125	1555
21時～24時	15	12	10	14	24	20	17	13	5	13	16	21	180
合計	895	901	698	918	853	855	911	858	829	803	828	839	10188

相談件数は前年度よりわずかに増加していますが、大きな変化は見られませんでした。
今後も関係諸機関の皆様と連携を図りながら、一人ひとりに寄り添った支援に取り組んでまいりたいと考えております。（記：福留）

訪問に行ってきました。お喋りを楽しんでいる子や漫画を読んでいる子、かき氷や親子丼を食べている子など、それぞれが思い思いに、のびのびと自由に過ごしている様子が印象的でした。場の雰囲気も穏やかで、子どもたちが安心していられる場所であることが伝わってきました。（記：福留）

小・中学生向け

静かに本をよんだり、勉強したり、
ゆったり過ごそう。
漫画や囲碁・将棋もあるよ！

こどもの居場所

併設 じいちゃんち 読書・宿題処

毎週火木土午後2時～6時
住所：野田市清水382-17
電話：090-7719-4251



こども食堂 腹ぺこ110番
駄菓子・軽食 対象：小学生・中学生（無料）
注意：アレルギー対応なし
※緊急時の食料提供もあります（要申込）
協賛：野田市こども食堂ネットワーク

火曜日・木曜日
カップめん いろいろ / おにぎり サケマヨ・かつお梅
どんぶり カレー丼 親子丼（小腹めしメニュー）
土曜日
パスコのパン / オープン記念 ワッフル/たこせん

お知らせ

病院送迎バスの空席を活用した野田市高齢者等移動支援事業

高齢者及び障がい者の日常生活における移動の利便性の向上を図るため、市内2病院（キッコーマン総合病院、野田病院）で運行している送迎バスの空席を活用し、高齢者等が通院以外にも買い物や駅などへの移動のために送迎バスを利用できるよう、病院が定める運行ルート上での混乗運行を行っています。

※利用には事前申請が必要です。

問い合わせ先：野田市役所・交通政策室（04-7123-1065）

ゆったりカフェ

青年学級わたぼうしとゆったりカフェを合同で開催しています
現在参加される方が減少しています。興味がある方は連絡の上ご参加下さい

今後の予定

7月6日（日）13:00～ ウノ大会 中央公民館 会議室 無料

8月10日（日）13:00～ ボッチャ 中央公民館 会議室 無料

9月14日（日）13:00～ ゲーム大会 中央公民館 講座室 無料

担当：五十嵐

TEL04-7127-5366

編集後記 前回の広報誌における号数の表記に誤りがありました。正しくは今回が77号です。

お詫びして訂正いたします。

（記：福留）

野田市第五地区・民生委員児童委員協議会・児童部会に参加して

令和7年4月25日(金)・川間公民館講堂において、部会員の更なる知識向上を図り、理解を深める為に「子どもの支援について」のテーマで研修のご依頼を頂き、お話をさせて頂きました。

平成16年10月に「中核地域生活支援センター」を千葉県より受託して20年を経過し、その間に相談を受け、支援した事例を元にお話をさせて頂きました。

(1) 幼児の相談・・・保育園・幼稚園で集団行動が取れない

- ① 発達の疑い「どうすればいいの?」「発達外来(病院)はどこに行けばいいの?」
…受診を希望の場合は、受診先と一緒に探す。
- ② 障害が診断されたら「どうしたらいいの?」…福祉サービスの紹介・支援。
- ③ 虐待(暴言・暴力・育児放棄)の相談は…状況確認、通報に至ることもある。

(2) 小学生の相談・・・学校での問題行動と原因

- ① 「大声・騒ぐ・離席・飛び出し・学習の遅れ」…学校・担任と連携を取り、対応。
- ② 遅刻・早退・不登校・ひきこもり状態…原因が本人にあるのか、家庭によるかで対応。
- ③ 家庭状況「病人は?生活費は?借金はないか?」…学校と連携、面談、家庭訪問で対応。
- ④ 外国籍の場合「言葉が通じない・書類が書けない」…家族の理解があれば面談、家庭訪問で対応。

(3) 中学生の相談

- ① 不登校で家でゲームばかりしている…今までの相談先、受診歴を伺い、家族の理解があれば面談へ。
- ② 親がいない、祖父と暮らしている…困っていることへの対応の為、面談訪問。

(4) 高校生の相談・・・家が経済的に困窮、弁当を持ってこない

- …本人と支援者、学校等で面談、支援の内容を相談。
- 親・祖父母の介護をしている「ヤングケアラー」

事例①<スクールソーシャルワーカーからの相談>

- ・祖母と暮らす小学生宅がガスを止められ、ポットのお湯で体を拭き、食費にも困窮していた。
- 子どもの母親は精神を病み、祖母が2人の孫を乳幼児期から育てていた。

<のだネットの支援>

- ・生活保護の申請支援、子どもの発達を調べ対応、療育手帳取得支援
- …現在、成人し障害者雇用で就労中。

今後も、家族・学校・公的機関・福祉関係者・病院と連携し、子どもの幸せの為の支援を続けます。

(記:金城)

令和7年度 のだネット運営委員会報告

のだネットでは毎年、運営委員会を開催して、委員の皆様へ年間の報告と運営についてのご意見を伺っています。

全体の相談件数は、ほぼ横ばいであること、校内居場所づくり事業は2年の期限が延長されて今年度も開催できることになったこと等を報告しました。あわせて事例報告で、ペットの問題や病気によって困窮に陥った方の支援について検討していただき、委員の方々から貴重なご意見を頂きました。頂いたご意見やご感想を今後の活動に反映すべく努力してまいります。

委員の皆様には、お忙しい中での御出席を改めて感謝致します。(記:五十嵐)



活動 報告

中核連協研修会

令和7年5月9日、浦安市中央公民館を会場に行われた、中核連協研修会に参加しました。会場へは東京メトロに乗り向かいましたが、初めて乗るメトロや都会の空気に触れる等、少しソワソワしながら会場に向かいました。

研修会には25名程の参加者がおり、これまでの中核地域支援センターの設立の経緯や事業の流れの説明を受け、その後、4つのグループに分かれグループワークが行われました。

参加者の多くは中核の経験が2年未満や就労支援や相談支援等々、様々な分野の方々であり、各々が現在感じていることについて、意見を出し合いました。

『何がわからないのかがわかっていない』私にとって、とても有意義な話を伺うことができました。これから、数年後の自分に期待しつつ、日々学んでいきたいと思えます。(記:金)

教育相談ネットワーク連絡協議会

令和7年6月12日(木)、第一回地区教育相談ネットワーク連絡協議会に参加させて頂きました。

当日は、千葉大学教育学部の磯邊聡教授を講師に迎え、講演とグループ協議を通じて情報交換を行いました。

講演では、長期欠席(不登校)の変遷から、最新の国の取り組みの動向まで、幅広くお話をうかがいました。

グループ協議では、好転事例・困難事例における対応について情報を共有し、関係諸機関と連携して一人ひとりの支援に向き合うことの重要性を改めて実感しました。

気づきや学びの多い、貴重な時間となりました。(記:福留)

新任職員 自己紹介



平成16年にいちいの会に入職、入所施設やグループホームを経験し、今年度より中核地域生活支援センターに配属となりました。相談業務は初めての経験となります。よろしくお願いします。

現在、子どもが地域の少年野球チームに所属しており、休日は一緒に練習をしています。

練習が休みになるのは雨天時のみで、1日グラウンドで過ごすこともあります。

ハードな休日を過ごしていますが、身体を動かすことで体力、気持的にとても前向きになれているように感じます。その一方で、無理の効かない年齢となってきました。

何事にも詰め込みすぎず、「ほどほどに」をモットーに取り組んでいきたいと考える今日この頃です。(記:金)